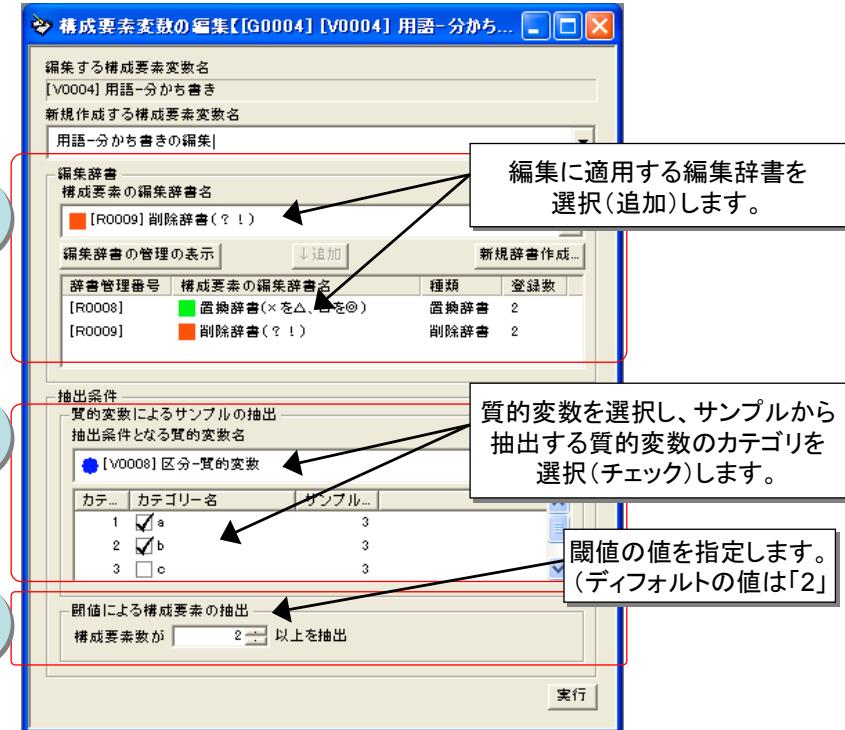


構成要素変数の編集の適用順序

適用順序

1. 辞書(削除・置換)による編集
2. 質的変数によるサンプルの抽出
3. 閾値による構成要素の抽出



[狙い]

解析の目的や狙いに応じて、構成要素を編集する。

[ポイント]

- (1) 編集の方法は、①編集(削除・置換)辞書、②質的変数によるサンプルの抽出、③閾値による抽出、の3つがある。
- (2) 編集の順序は、まず、編集辞書により、構成要素の削除・置換が行われる。次に、質的変数によるサンプルの抽出が行われ、最後に閾値により構成要素が抽出される。(閾値の「値」となる構成要素数が変化する)
 - ・構成要素が置換辞書により置換されると構成要素数が変化(増加)する。
 - ・質的変数によるサンプルの抽出が行われると構成要素数が変化(減少)する。